



学校だより

「たぶの木」



令和4年7月
鹿児島市立武岡台小学校
児童数250名

75日の無事に感謝 心が育つ夏が来る

校長 榊 まゆみ

異常気象と言われて久しいですが、今年の梅雨はなんと16日間で終了しました。空を見上げると夏雲がぐんぐん大きくなり、いよいよ夏本番！と思わせる光景です。

登校指導に立つ正門に、汗をふきふきしっかりとした足取りでやってくる子供たち。どの子もこの1学期でたくましく成長したなあと頼もしく思います。

コロナ禍で先の見通せない日々、多少の不自由さの中でも、できる活動はできる限り実施した1学期ももうすぐ終わります。振り返りますと、子供たちが大きな事故や病気もなく過ごせたことが何よりうれしいことです。それは、ご家庭での声かけやご指導、地域の方々の見守り活動や登校指導など、多くの方々がかかわってくださったおかげ様です。

250名の子供たちが1学期の75日間を、元気に過ごせたことに感謝申し上げます。



いよいよ、子供たちが楽しみにしている夏休みがやってきます。夏休みの原則は家庭に子供をかえし、家族や地域、自然、文化などを先生に、たくさんの体験をとおしてたくましく育てることです。ぜひ、子供たちの心が育つ夏休みになってほしいと思います。子供をほめる機会を意図して作り、良いところをたくさん見つけ、伸ばしてあげてください。

ゲームやYouTubeなどに多くの貴重な時間を取られることで、成長期における体のゆがみ、視力の低下、気力の低下、暴言、友達とのトラブルなどにつながることはありませんように心から願います。

最後に、保護者の皆様・地域の皆様の1学期の教育活動へのご協力・ご支援に深く感謝申し上げます。引き続き、夏休みの愛情いっぱいの健全育成をお願いする次第です。

1学期間ありがとうございました。

県内のコロナ感染者数が落ち着いていた時期に、感染対策を取り、久しぶりの音楽集会を行いました。



今回は6年生が、リコーダー演奏と合唱を発表しました。2学期も実施できるといいなあ。

6年2組がタブレットを使った体育の研究授業をしました。マット運動の動きを撮影し、自分の動きを見たり友達からアドバイスをもらったり…
これからも様々な教科でどんどんICTを活用していきます。



1学期も大詰め7月13・14日に5年生が南薩少年自然の家に集団宿泊学習に行きました。1学期の学習の集大成として、自然に触れながら友達と協力し、集団生活でしか学べないことを体験しました。これからは生きる学びです。

新聞でも紹介されましたが、5・6年生が社会貢献活動として、ユニクロ・GU主催「届けよう、服のチカラ」プロジェクト~に参加することになり、ユニクロの社員さんの出前授業を受けました。これは不要になった子供服を難民の方々に届ける活動です。

